

ふるさと 資料紹介

= 55 =



▲十二社神社の獅子芝居

史料と地名からみた 地区の歴史⑩

山之上(二)

江戸時代後半の記録によると、山之上の各村の戸数は中之番四五、金屋(金谷)四七、端畑(田畑)一一、野地原一〇、西洞四二、本地二五、佐

口六〇、南坂四三でした。

後の明治五年の村明細帳には、山之上全体で家数二五八、人数一五〇七人、馬一五匹と記され、職人として医師一人、桶師四人、木挽(こびき)二人、大工七人などがいたと記載されています。

西洞にある十二社神社は、天正十一年(一五八三年)、熊野三社を祭つて建てられたと

いわれる古い神社です。

毎年、四月の祭礼の口には、

獅子芝居の奉納があります。

これは、慶長五年に現在地へ社殿が移された時、神楽舞や稚児の踊りとともに奉納されたのが始まりとされ、市の無形民俗文化財となっています。

今回は、次の方から貴重な資料を寄贈いただきました。

ありがとうございました。

(平成七年十二月分)

○民具 十点

(岩井尉光さん/下米田町)

○古い教科書 二点

(堀部照子さん/中富町)

計画中の博物館建設のため、現在いろいろな資料を収集しています。文化課(文化会館内/☎内四〇八)まで情報をお寄せください。